

1. 活動のテーマ

<テーマ>

マリア様

<テーマの設定理由>

- ・カトリック園で生活の節目ごとに祈る機会がある
- ・月に数回教会訪問や神父様の話を聞く
- ・母の日を通してカトリックの中でのみんなのお母様の存在を知り、祈りを深め始めた。

2. 活動スケジュール

- ・聖母月（5月）・マリア様に興味を持ち、祈りを深める
- ・聖母祭に参加する
- ・ロザリオの月を知り、アベマリアの祈りを願いを込めて祈る
- ・聖劇を通してマリア様への思いを深める
- ・ロザリオを自分で作って心を込めて祈る

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ビーズ ・刺繍糸

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ロザリオを作り、友だちと心を合わせて一連（10回）祈る

神父様見せて頂いたり、教会の売店に置かれている実物をみたりして、ロザリオに対するイメージを持ち始めていたのでビーズでミニサイズのロザリオ作りを行う

その後、みんなで完成したロザリオを持って神父様と祈りを捧げる時間を持つ

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

お店屋さんごっこで使用して余ったビーズの入れ物を見せ、ロザリオになりそうと伝えると「やってみよう！」と意欲的な姿を見せ取り組んでいた。

神父様と祈る際はどの子もぎゅっとロザリオの珠（ビーズ）を押さえ、一回一回丁寧に祈る姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

糸にビーズを通すことは難しいので3歳児などは声をかけなくても良いかなと思っていたが、どの子も色とりどりのビーズに引きつけられ「作りたい！」とやってきた。年上の友だちが取り組む姿の影響の大きさを感じた。神父様に10回も唱えることを大変ではないか？大丈夫？と心配されたが、子どもたちはとても集中して一回一回ロザリオの珠を確認しながら熱心に祈る姿に驚かされた。また多くの子が途中で何回目か分からなくなるのではないかと心配していたが、ほとんどの子がしっかりとロザリオの珠を押さえ、数を数えられていた。興味があることに大する子どもの持つ力の大きさを感じた。